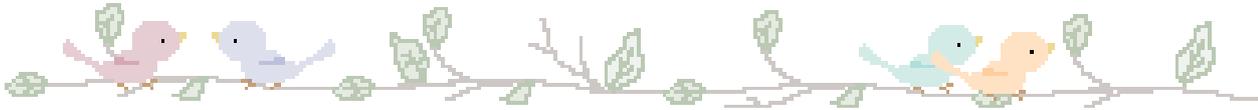


「ゆうゆう北久里浜だより」



お雑煮

ナーシングホームでも御餅は喉につまらないような「お雑煮風」と、御節料理でお正月をお祝いしました。

お雑煮の歴史は古く、始まりは平安時代だといわれています。餅は古くから農耕民族である日本人にとって、お祝いごとや特別な「ハレの日」に食べる「ハレ」の食べ物でした。年神様に供えた餅や里芋、にんじん、大根などを、その年の最初に井戸や川から汲んだ「若水」と、新年最初の火で煮込み、元旦に食べたのが始まりといわれています。雑煮の語源は「煮雑ぜ(にまぜ)」で、色々な具材を煮合わせたことからきています。お正月の三が日におせちやお雑煮を食べる際には「祝い箸」という両方の先が細くなったお箸を使いますが、これは取り箸と食い箸の両方に使えるように……というわけではなく、一方を人が使い、もう片方は神様が使う「神人共食」を表したものです。

クリスマス ランチ



20日にクリスマス会を開催しました。今年は1Fで皆様集まってのディナーパーティーや歌などはできませんが、フロア毎にサンタやマジックや聖歌隊が周りランチパーティーを盛り上げました。

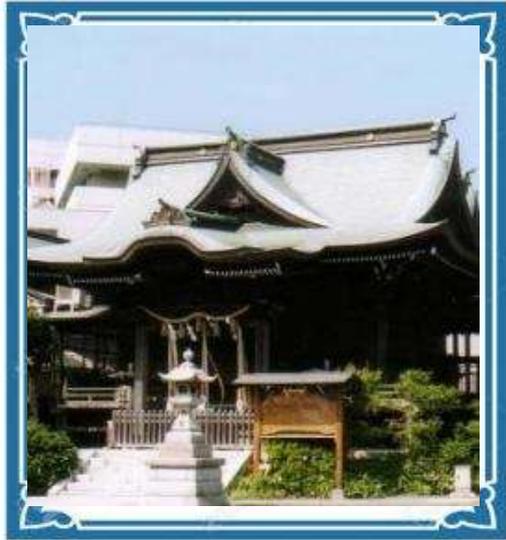
おしるこ



甘くて温かいおしるこを楽しんで頂きました。江戸時代のすすりだんごが起源と言われています。初めは塩味で酒のあてとして作られていました。それがだんだんと地方によって形変え、酒のあてではなくおやつ感覚で食べられるように甘くなったとも言われています。

名所紹介

船越神社



景德寺門前の国道16号線の道路をへだてた山腹に船越神社があります。祭神は速玉之男命(はやたまのおのみこと)と大山咋命(おおやまくいのみこと)。景德寺境内にかっ
てあった宝珠庵(ほうじゅあん)の守護神社で地主神としてまつられていました。旧熊野社が、明治3年、神仏分離によって現在地に移され独立しました。さらに昭和3年に日枝神社を合わせ、昭和9年に熊野社を船越神社と改めました。

お知らせ

◆ 1月アクティビティ予定

- ・獅子舞
- ・甘酒喫茶
- ・正月遊び
- ・ナーシング体操
- ・アロママッサージ

七草粥

本来は1月7日の「人日(じんじつ)の節句」の行事食です。この日に7種類の若菜を入れた汁物を食べて、無病息災を願う習慣もありました。これが奈良時代の日本に伝わり、年初に若菜を摘んで食べて生命力をいただく「若菜摘み」、7種類の穀物でお粥を作る「七種粥」の風習と結びつき、現在の七草粥の形になっていったとされています。



ナーシングホーム 北久里浜

〒239-0807

横須賀市根岸町3-2-14

電話 046-838-5778